

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	トラム				
事業所番号	4650102116				
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市谷山中央一丁目7番3号				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択) ホームページ ↓ 2にURLを記載
	2. 内容 https://www.keiseikai-kagoshima.jp/outline
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	南迫 秀也
連絡先 (TEL)	099-204-4877

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トラム		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 14日		～ 令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年 1月14日		～ 令和8年 1月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の状況に合わせた丁寧な分析と環境作り	専門的な評価ツールや日々の何気ない様子から、お子様の「得意」や「苦手」を多角的に分析しています。また、過ごしやすいようお部屋の工夫も進めています。	まだバリアフリー化が十分でない箇所があるため、少しずつ改善を進め、どのお子様もより安心して過ごせる環境を整えてまいります。
2	お子様の健康と安全を支える細やかな連携	お菓子の管理やアレルギー対応、持病の確認などを徹底し、職員全員で正確に共有しています。万が一の際にも迅速に動けるよう、安全管理に努めています。	避難訓練などの安全計画の内容を、今後は面談やお手紙等でもっと分かりやすくお伝えし、ご家族と一緒に安心を守っていける体制を深めていきます。
3	お子様の権利を守り、心に寄り添う支援	お子様の尊厳を大切に、適切な関わりができるよう職員研修に励んでいます。身体拘束は原則行わず、一人ひとりの心に寄り添う支援を常に意識しています。	お便りやSNSなどを使って、日々の活動や行事予定をもっと積極的にお届けします。地域の方々とも交流を深め、より開かれた事業所を目指します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域・家庭へのタイムリーな情報共有	日々の支援を優先するあまり、SNSやHP、定期的な通信を通じた「活動の見える化」が十分に行えていません。	情報発信の担当や仕組みを整理し、お子様の楽しそうな様子や事業所の取り組みを、もっと身近に感じていただけるよう発信頻度を高めていきます。
2	相談支援が送迎時や個別の面談など、その場限りの対応(点での支援)に留まっており、全保護者に対して体系的な知識や技術を共有する「線での支援」が構築できていない。	日々の児童への直接支援や個別支援計画の作成に業務が集中しており、家族向けプログラムの企画・教材作成に充てる専門的な時間を十分に確保できていなかった。	大規模な研修会が難しくても、モニタリング(6ヶ月ごと)の時間を一部活用した「ミニ・ペアレントトレーニング」の実施など行う。
3	災害時や事故発生時の連絡フロー、具体的な待機場所などが、契約時以降、定期的にリマインド(再周知)されていない。	内部的な安全点検や記録に注力するあまり、それを保護者へ「フィードバックする」という工程がルーチン化できていなかった。	災害時の連絡フローや安否確認方法について、年1回以上のテスト配信や着面配布を行い、保護者との共有を徹底する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス「トラム」

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 48名(45世帯)

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	3			10階の廊下などの活動だと不十分ですが、3階のフットサル場が使えたりすればスペースは充分かなと。 身体が大きな年齢が集まる割に狭く感じる	活動内容や年齢に応じて、3階フットサル場などの広いスペースを活用し、子どもたちが安全に活動できる環境の確保に努めています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	5			女性の職員がもう1人いたら。	ご意見を踏まえ、支障体制や利用状況に応じて、女性職員を含めた職員配置の在り方について検討してまいります。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11		1	1	建物自体に不思議な段差があり気になる。構造化の問題などは聞いているが新しい福祉施設なのに残念に感じる。	建物構造化の段差については、課題として受け止めております。現在は、お子様が安全に移動できるよう職員による声かけや見守りを行うとともに、必要に応じて表示や環境面での工夫を行い、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				1	工夫して下さっている	温かいご意見をありがとうございます。引き続き、清潔で心地よく、子どもたちの活動に合った空間づくりを心がけてまいります。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に合わせた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1		1		公表しているプログラムと実際の活動内容の整合性について、改めて丁寧な説明が必要だと認識いたしました。今後プログラムに基づいた質の高い支援を徹底してまいります。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1				マニュアルの存在や訓練の実施状況について、十分に情報が届いていない面がありました。今後は実施後の様子を事業所掲示や通信で具体的にお知らせし、安心感につながる情報発信を強化します。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				1	個々のお子様のニーズをより深く反映させ、ご家庭にも分かりやすい計画策定と丁寧な説明に努めます。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				1	個別支援計画に基づく支援を行っておりますが、日々の活動との結びつきが伝わりにくい状況でした。今後は、連絡帳やモニタリング時に「どの目標に向けたアプローチか」をより具体的に説明し、支援の透明性を高めてまいります。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2				平日は中々固定した活動になりがちですが、職員の方々が工夫して下さっている事は感じます。	引き続き職員間で工夫を重ね、活動内容に変化を持たせられるよう取り組んでまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	3	1	4		地域の公園清掃など地域に出る活動はしていますが、お子さまたちが社会経験を広げられるようイベントへの参加を通じ、他児と自然に触れ合える機会を計画してまいります。	
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1				今後はより時間をかけて丁寧に説明を行うことで、支援内容への理解と納得感を深めていただけるよう努めます。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1		2		もう少し早めに予定が分かればもっと参加出来るはず 家族会、いつも楽しく参加させて頂いています。	今後は、より多くの方に参加いただけるよう、開催予定の早めの周知に努めてまいります。家族会への温かいご参加ありがとうございます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2	1	1			定期的な面談や子育てに関する助言等の支援を継続して行うとともに、保護者の方が相談しやすい体制づくりと、より丁寧な支援の充実にも努めてまいります。

護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6		2		保護者同士やきょうだい同士の交流の機会について、引き続き家族会や行事等を通して支援を行うとともに、より多くの方が参加しやすい形での交流機会づくりを検討してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1		3		相談や申入れに関する体制について周知を継続するとともに、子どもや保護者が相談しやすい環境づくりに努め、迅速かつ適切な対応が行える体制の維持・充実を図ってまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	3		1		引き続き丁寧な説明と分かりやすい情報提供を心がけ、より円滑なコミュニケーションが図れるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	3		1	トラムの活動の報子は配信されていないようです	活動の報子が十分に伝えられていないのご意見を踏まえ、今後は通信やHP等を活用し、活動内容や行事の様子について、より分かりやすい情報発信に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1		1		適切な管理と職員間での共有・確認を徹底し、安心してご利用いただける体制の維持に努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			1		各種マニュアルは策定済みですが、周知・説明が不十分であったことを受け止め説明をより丁寧に行うとともに視覚的にもわかりやすい情報提供に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13				災害時の逃げ道が少ないのが心配	非常時に備えた避難訓練を定期的に実施するとともに、複数の避難方法を想定した安全確認や職員間での共有を行ってまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10		1	2		安全確保に関する計画について、引き続き分かりやすい周知に努めるとともに、子どもの安全を最優先とした支援の実施に取り組んでまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	2	1	3		今後は連絡方法や説明内容の統一を図り、より分かりやすく迅速な情報共有に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	2				お子様がより安心して過ごせるよう、環境調整と、きめ細やかな声掛けを徹底いたします。保護者様との連携を密にし、信頼関係の構築に努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1				全てのお子様で「通うのが楽しみ」と思えるよう、日々のレクリエーションの充実や、個々の興味・関心に寄り添った活動の提供を強化いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1			楽しみにしております。情緒もほほ乱れることなく自覚でも落ち着いているので満足していると思います。週1しかないで情報共有を遊、トラム、家庭でしたいと思います。	温かいお言葉をありがとうございます。引き続き、安心して楽しく通っていただける支援を継続するとともに、事業所・学校・ご家庭との情報共有を大切にし、より一層の連携に努めてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	トラム				公表日	令和8年 2月 27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に合わせ机の配置を柔軟に変更し、安全な動線を確保しています。整理整頓を徹底し、スムーズに次の作業へ移行できる環境を整えています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令基準以上のスタッフを配置し、お子様の特性や体調に合わせた柔軟なチーム支援を行っています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		生活空間の構造化やバリアフリー化を順次実施し、特性に配慮した環境を整えています。	一部、改善が必要な箇所については順次見直しを行い、より安全で分かりやすい環境づくりを継続的に推進します。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		就労準備の一環として、お子様と共に整理整頓に取り組んでいます。「清潔な空間の心地よさ」を肌で感じ、維持する習慣を育てています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		集団生活で疲れやすいお子様や、感覚過敏（音・視線など）のあるお子様が安心して過ごせるよう、専用の静養スペースを設けています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全スタッフで日々の変化を共有し、支援方法をその場で微調整できる体制をとっています。意見を出しやすい雰囲気作りを大切に、環境構築やプログラムに即座に反映させています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回の保護者アンケートを実施し、頂いたご意見を業務改善に繋げています。改善内容は事業所全体に分かりやすく報告し、透明性の高い運営に努めています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		全スタッフ意見を出せる雰囲気作りを大切にしています。現場からの気づきを、即座に環境構築やプログラムの調整に反映させています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者の外部評価の実施に向けて、検討・協議しながら今後対応を行って参ります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月欠かさず事例検討を行い、職員の専門性を高め、支援の質を向上させています。			
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月欠かさず事例検討を行い、職員の専門性を高め、支援の質を向上させています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		児発管が作成した原案を全スタッフで周知・検討し、現場の気づきを即座にプログラムの調整へ反映させています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画を適切に保管し、全スタッフが意図を理解した上で、一貫したサポートを提供できる体制を整えています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書の適切な保管と全職員への周知を徹底。スタッフ一人ひとりが支援の意図を正しく理解し、質の高い一貫したサポートを実践しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化された評価ツールと日々の行動観察を組み合わせ、多角的にアセスメントを実施しています。お子様の強みや課題を的確に把握し、個別支援計画の策定に反映させています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		日々の活動が単なる時間潰しにならず、本人の強みを伸ばし社会へ繋がるステップとなるよう、具体的な目標設定を心がけています。			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全スタッフが各々の専門性や強みを活かして立案に参画しています。多角的な視点から意見を交わすことで、お子様の成長に多方面からアプローチできる質の高いプログラムを構築しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		スタッフの特技を活かした担当制プログラムを導入。お子様の興味・関心の変化を敏感に捉え、過去の成功例に捉われず常に「今のコース」に響くコンテンツを提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動が予定されていても、お子様の体調や気分に合わせて、無理なく個別活動へ切り替えるなど柔軟に対応しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		緊急時の動きを事前にシミュレーションし、全スタッフが役割を把握しています。迅速な対応体制を整えることで、お子様が安心して活動に集中できる環境を構築しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		日々の気づきを即座に共有し、支援のズレをその日のうちに修正。常に最新の状況に合わせた、的確なサポートを徹底しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		お子様の発言や行動を客観的な事実に基づき詳細に記録しています。スタッフ間での主観のズレをなくし、共通の事実に基づいて理解を深める基盤としています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		日々の支援記録や振り返り会議を通じて、お子様の小さな変化やステップアップの兆しを常にキャッチしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		4つの柱を組み合わせた多角的なプログラムで興味・関心を刺激しています。一つの活動から得られる経験を広げ、社会で必要な力を楽しみながら育める環境を追求しています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		「やりたくない」などの意思表示も尊重な自己決定として尊重しています。本人の意思を確認し、合意の上で活動を進めることで、自己肯定感と主体性を育んでいます。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当職員が出席し、お子様の様子やニーズなど情報共有が図れるようにしております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保健センターや児童相談所、各学校と関わりを作りながら支援体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年2回の情報交換会、送迎時などで学校と連携を図っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、各関係機関と連携を図っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		卒業後の円滑な移行に向け、関係機関への支援内容や特性情報の提供を徹底しています。新しい環境でも本人が安心して過ごせるよう、これまでの支援の歩みを確実に繋いでいます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			スーパーバイズや助言を受ける機会を定期的に設け、事業所全体の専門性をさらに高める体制づくりを急ぎます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域の子どもたちと活動する機会については、現状十分には確保できていません。今後は地域の行事への参加や、近隣施設との接点を持つ機会を段階的に模索し、お子様が地域社会の中で多様な人と触れ合える環境づくりを検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			地域の連絡調整会議等には法人代表が自ら出席しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			日々の送迎や面談を通じ、お子様の様子を共有しています。発達状況や課題について保護者と同じ目線で理解を深め、家庭と連携した一貫性のある支援を実践しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			個別の相談対応には応じているが、体系的なプログラム実施や集団での情報提供機会が不足している。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用前の見学や契約時に重要事項を丁寧に説明しています。利用料の無償化・有償化等の制度変更についても事前周知を徹底し、不明点には随時対応できる体制を整えています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成時は、お子様の最善の利益を最優先し、本人・ご家族の意向確認を徹底しています。丁寧な対話を通じて意思を尊重し、合意に基づいた支援を実践しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画」を提示し、支援内容を丁寧に説明しています。保護者の皆様(内容を十分に確認いただき、必ず同意を得た上で支援を実施しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族の子育ての悩みに対し、面談や日々の対話を通じて適切に助言・支援を行っています。心理的な負担に寄り添い、共に解決策を考えるパートナーとしての役割を徹底しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			保護者同士やきょうだい児の交流機会については、現在十分な提供ができておりません。今後は、ご家族のニーズを丁寧に汲み取りながら、無理なく参加できる交流イベントの企画・実施を検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決の体制を整え、保護者への周知を徹底しています。万が一の際も、迅速かつ誠実に対応することで、お子様とご家族が安心して利用できる環境づくりに努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			定期的な通信やSNS等での全体周知が不十分です。今後は情報共有の仕組みを見直し、活動内容や行事予定をより分かりやすく、タイムリーにお届けできる体制を整えてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いに関する規程を整備し、職員間での周知を徹底しています。お子様やご家族のプライバシー保護を最優先し、情報の適切な管理と安全な運用を実践しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝わりやすさと安心感に配慮したコミュニケーションを実践しています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		事業所としては行っておりませんが、法人として地域に開かれたイベントを行っております。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアル(事故・緊急時・防犯・感染症)を完備し、職員への周知と定期的な訓練を徹底しています。保護者様にも対応方針を共有し、不測の事態に備えた迅速な初動と安全確保に努めています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、非常災害時に支援を継続できる体制を整えています。定期的な避難・救出訓練の実施を通じ、職員の防災意識を高め、お子様の安全確保を最優先に努めています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用前に服薬、予防接種、てんかん等の健康状態を詳細に把握しています。職員間で情報を正確に共有し、緊急時にも迅速かつ適切な対応ができる体制を整えています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書に基づき、アレルギー情報を正確に把握・共有しています。誤食防止マニュアルの徹底と専用の食器使用等により、安全な食環境の提供に努めています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき、職員研修や避難訓練を定期的に行っています。ヒヤリハットの共有や設備の安全点検を徹底し、お子様が安心して過ごせる安全な支援環境を整えています。	

51	<p>こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。</p>		○		<p>ご家族への周知が十分に行えておりません。今後は、計画の内容を分かりやすく書面にまとめ、面談や書面等を通じて共有することで、ご家庭と連携した安全確保に努めてまいります。</p>
52	<p>ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。</p>	○		<p>ヒヤリハット事例を職員間で即座に共有し、定期的な検討会で再発防止策を策定しています。情報を蓄積・分析することで、重大事故の未然防止を徹底しています。</p>	
53	<p>虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。</p>	○		<p>虐待防止マニュアルを整備し、定期的な職員研修を実施しています。こどもの権利擁護に対する意識を常に高め、適切な関わりと組織的なチェック体制を維持しています。</p>	
54	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。</p>	○		<p>身体拘束は原則行わない方針を徹底しています。万が一やむを得ない場合は、組織的に判断し、保護者様へ事前に十分な説明と合意を得た上で、計画書に明記し適正に運用します。</p>	